

KANUMA NO MEISHO

# 鹿沼の名匠

## 五月女 晃久

そうとめ

あきひさ



五月女 晃久

解体・建築・保存の建設分野のうち、特に保存の分野を受け持ち、高い専門性を求められる曳家。五月女さんは、建築物の移転や補修を担う曳家工事において、工法の立案から現場の指揮、ジャッキ操作盤の操作等、曳家工事の中核となる業務を担っています。

五月女さんが働く「五月女建設株式会社」は鹿沼で1902年に創業の総合建設会社です。近年、曳家工事を行う会社が減少する中、入社以来、曳家工事の指揮を執り、国指定有形文化財「真岡高校記念館」耐震改修工事など数々の実績を積み重ねてきました。

神社仏閣や文化財指定の建造物、古民家、大谷石や深岩石でできた石蔵、鳥居等の移転、さらには、歴史的価値の高い建物の腐食した土台や柱の交換・修復、地盤沈下によって傾いた建物の水平復旧など、複雑な条件下における大規模かつ高

度な曳家技術を要する工事において、見事に成し遂げたことが高く評価されました。

五月女さんは、建築物の構造、工法、使用材料に関する深い知識、そして的確な状況判断能力を、同社の先輩職人から伝えられた技と経験を生かしながら培ってきました。さらに、新たな工法の建造物にも対応できるよう、たゆまぬ研究を重ねています。

「仮に建築当時の工法や材料は同じだとしても、水回りの配置や地盤状況、構造次第で建物の重量バランスが変わる。そもそも建物は動かすつもりで建てたものでないため、状況判断を誤るとひびが入ったり、倒壊してしまうこともある。失敗は許されない。」と話す五月女さん。

「預けて頂いた大切な建物を動かす仕事に対し、これからも丁寧に取り組んでいきたい。」と意気込みを語ります。

◆ 建築物移転・補修

★ 鹿沼市